

# 非鉄金属市況と需給動向

平成30年3月（銅、亜鉛、ニッケル、金・白金）

独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構

おことわり: 本レポートの内容は、必ずしも独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構としての見解を示すものではありません。正確な情報をお届けするよう最大限の努力を行ってはおりますが、本レポートの内容に誤りのある可能性もあります。本レポートに基づきとられた行動の帰結につき、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構及びレポート執筆者は何らの責めを負いかねます。なお、本資料の図表類等を引用等する場合には、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構資料からの引用である旨を明示してくださいようお願い申し上げます。

## 「貿易戦争」勃発の懸念で米国通商政策先行きが不透明、2017年10月以来の安値6,500US\$/t

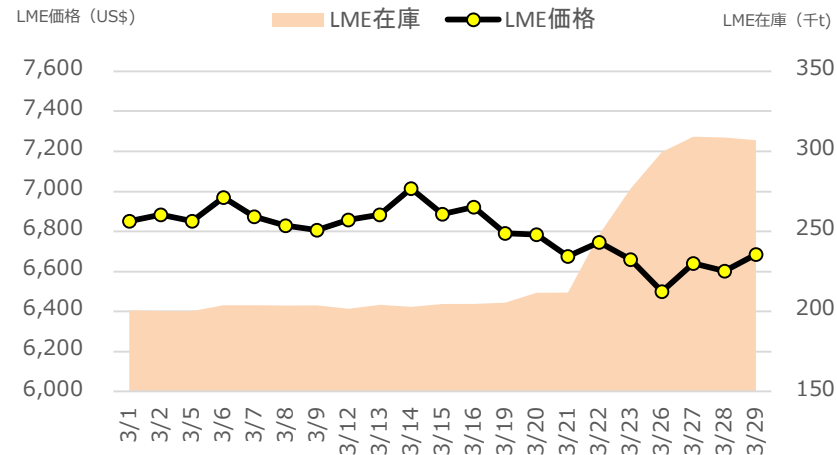
### ■ LME価格

- ① 「貿易戦争」勃発の懸念：前月28日発表の中国2月製造業PMI(50.3)が予想を下回ったことから、同国経済懸念のため価格が下落、6,852.0US\$/tでスタート。1日、米トランプ大統領が通商拡大法第232条に基づき、鉄鋼とアルミニウムに対する輸入制限措置発動を表明、貿易相手国の報復措置による「貿易戦争」勃発の懸念が高まる。これによるドル安の進行で一時価格が上昇したものの(6日：6,968.5US\$/t)、自由貿易論者であった米コーン国家経済会議委員長の辞任表明、輸入制限措置発動正式決定を受けて、米国通商政策の先行き不透明感から価格は6,808.0US\$/tに下落(9日)。
- ② 7,000.0US\$/t台に回復：その後、チリLos Pelambres銅鉱山労働者ストライキ、米ティラーソン国務長官解任の影響によるドル安、中国1～2月の固定資産投資(前年同期比7.9%増)、鉱工業生産(同7.2%増)が予想を上回ったことで上昇、14日には7,015.0US\$/tにまで回復した。
- ③ 2017年10月以来の最安値の後に回復：15日以降は、21日開催の米連邦公開市場委員会(FOMC)の政策金利引上観測、中国の知的財産権侵害に対する米・通商法第301条制裁措置決定と中国による報復措置発表による米中貿易摩擦激化の懸念、LME在庫増に対する嫌気から下落を辿り、26日には6,500.0US\$/tと2017年10月4日以来の安値。しかし、米中間で関税を課す計画の実行回避に向け交渉が進められているとの報道によって、同国間の貿易摩擦激化の懸念が和らいだこと、世界の株式市場回復への期待感が高まり、月末は価格が上昇。6,685.0US\$/tで越月。

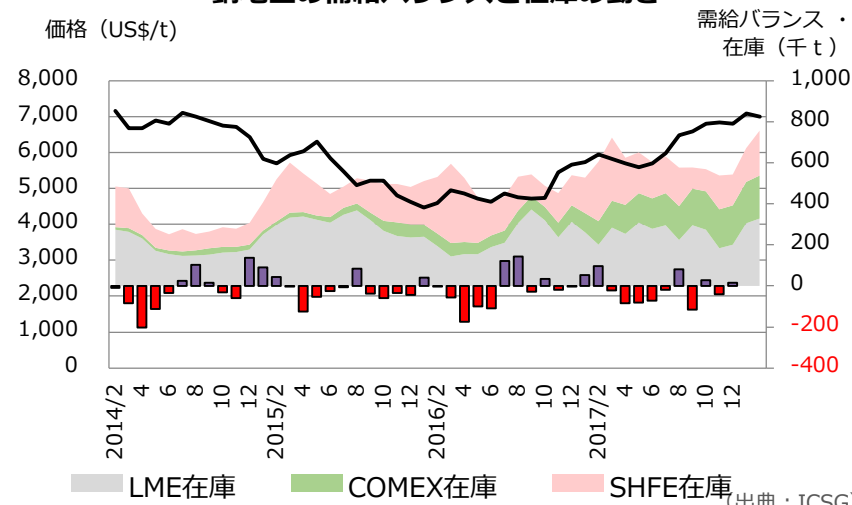
### ■ 需給動向

- ・国際銅研究会(ICSG)(秋季)予測は2017年15.1万tの供給不足、2018年10.4万tの供給不足。

当該期間の値動き



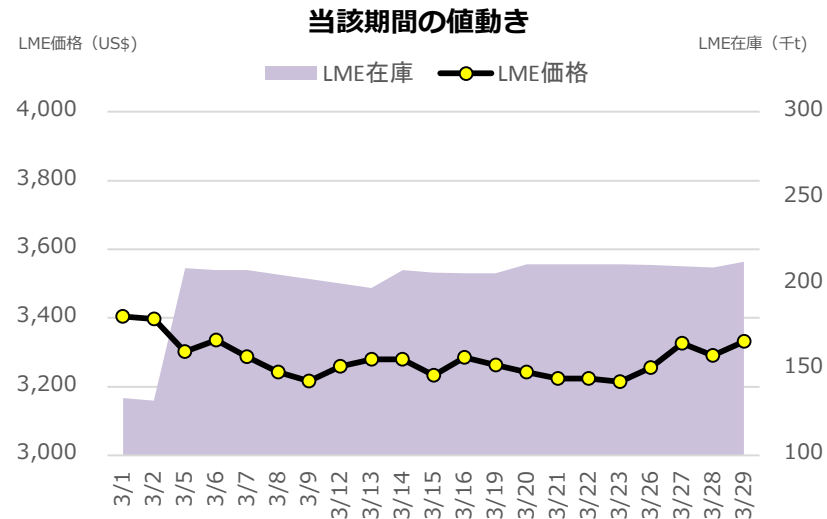
銅地金の需給バランスと在庫の動き



## 米中貿易摩擦懸念及びLME在庫の増加が下方圧力となり上値重く推移

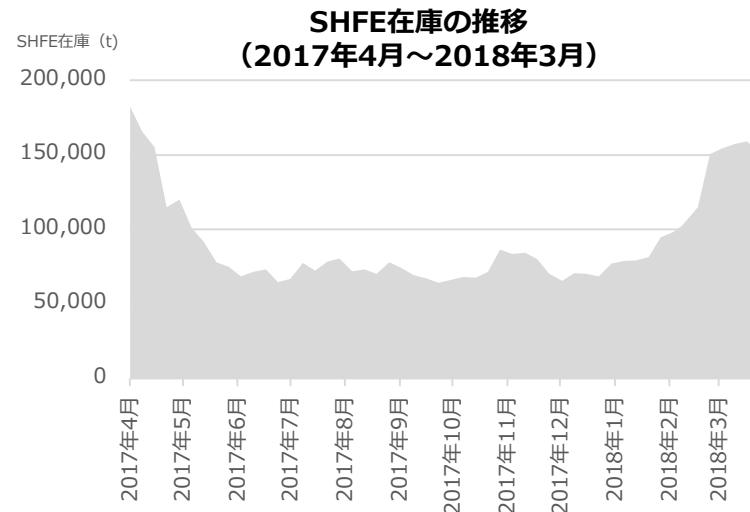
### ■ LME価格

- ① **米中経済への懸念及びLME在庫の増加が圧迫材料となり下落**：2月28日に発表された中国2月製造業PMIが低水準だったことを受けて同国経済への懸念が高まり、3,405US\$/tと前日から値を下げてのスタート。その後はさらに、米トランプ大統領が鉄鋼・アルミニウムに輸入制限措置発動を表明したことから需要減退懸念が高まり、またLME在庫の増加も嫌気され、上旬は下落傾向を辿った。
- ② **ドル高進行が一服もLME在庫増が下方圧力に**：中旬はドル高進行が一服し好感されたものの、月初より一段高となったLME在庫が引き続き下方圧力となりほぼ横ばい推移。
- ③ **米中間貿易摩擦懸念緩和を受け上昇**：下旬は、米国の年内利上げペースが加速しないとの見方が広がりドル安が進行した他、米中間貿易摩擦の発生回避に向けて両国間で交渉が進んでいるとの報道が好感され上昇。3,332US\$/tで越月した。



### ■ 需給動向

- 国際鉛亜鉛研究会(秋季)の予測では2017年は**39.8万tの供給不足**、2018年は**22.3万tの供給不足**。
- 主要鉱山操業状況：Nyrster社は加・Myra Falls鉱山（30万t/年）や米国・Middle Tennessee鉱山（50万t/年）で操業再開。Rampura-Agucha鉱山やAntamina鉱山も高品位鉱体開発により増産。Teck社はRed Dog鉱山の亜鉛生産量について今後5年間は525～550千t/年に達する見通し及びマインライフ延長を発表（2017年9月18日）。MMG社は豪・Dugald River鉱山の鉱石出荷開始を発表（同11月8日）、また豪・Century鉱山の尾鉱からの亜鉛採掘計画を発表（同11月28日）。GlencoreはLady Loretta鉱山の2018年上半期再開計画を発表（同12月12日）。



# ニッケル

## 堅調な中国経済指標などから一時上昇も、ドル高警戒感や貿易摩擦激化懸念から軟調推移

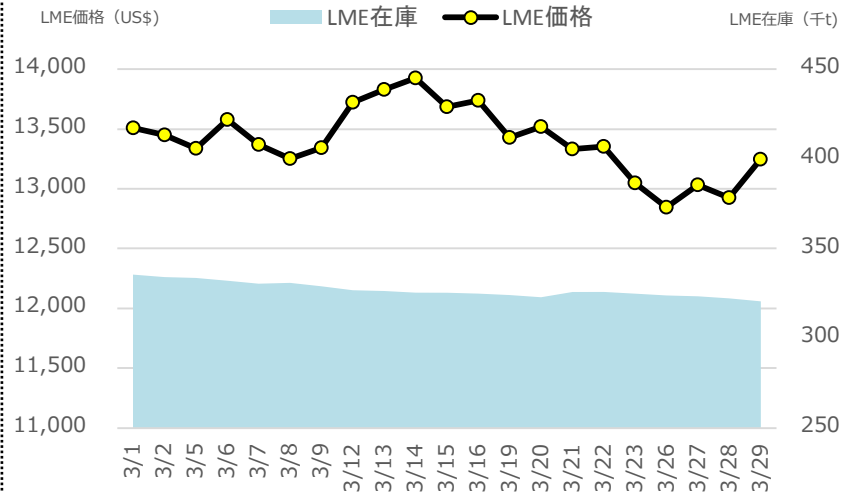
### ■ LME価格

- ① **米国通商政策の不透明感等から下落**：1日に13,510US\$/tでスタート、同日、米トランプ大統領が鉄鋼及びアルミニウムに輸入関税を課す計画を明らかにしたことから、需要減退懸念が広がり5日まで下落。6日にはドル安が進んだことから反発したものの、翌7日以降は、米トランプ政権において自由貿易論者であったコーン国家経済会議委員長の辞任表明を受け、同国通商政策の先行き不透明感から再び下落した。
- ② **ドル安傾向を背景に堅調な中国経済指標などを受け上昇**：9日以降は、米国通商政策の不透明感などからドル安傾向となったことが好感され上昇、14日には同日発表の中国1-2月の鉱工業生産が対前年同月比7.2%増、固定資産投資が同7.9%増と好調だったことを受け、当該期間最高値となる13,925US\$/tまで上昇した。
- ③ **ドル高への警戒感や米中貿易摩擦激化懸念から下落**：15日以降はドル高に振れたことなどから下落傾向に転じ、その後も米FOMCにおいて利上げの発表が見込まれる中、ドル高への警戒感や米中間の貿易摩擦激化懸念などからさらに値を下げ、26日には12,845US\$/tと13,000US\$を割り込んだ。月末は、米中間で関税実行回避に向けた交渉が進んでいるとの報道を受け、貿易摩擦激化懸念が和らぎ、価格は回復傾向となり、13,245US\$/tで越月。

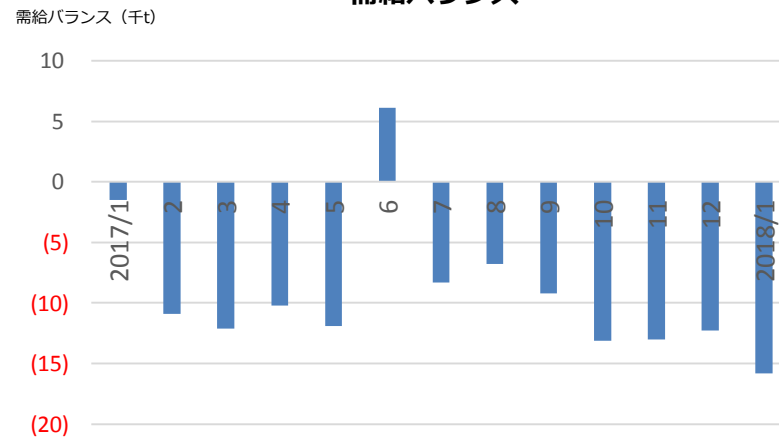
### ■ 需給動向

- 🐼 国際ニッケル研究会(秋季)予測では2017年は**9.7万t**、2018年は**5.3万t**の供給不足。
- 🐼 主要鉱山操業状況：フィリピン環境天然資源省が国内23鉱山の閉鎖・5鉱山の生産一時停止を命令（2017年2月2日）。ValeがカナダBirchtree鉱山閉鎖計画を発表（2017年5月17日）。First Quantum Mineralsが豪Ravensthorpe鉱山の9月閉鎖を発表（2017年8月11日）。Independence Group社は豪Long鉱山の坑内掘り採掘活動の2018年5月末終了を発表（2018年1月31日）。
- 🐼 フィリピン新環境天然資源大臣にRoy Cimatu氏を任命（2017年5月8日）

当該期間の値動き



需給バランス



(出典：INSG)

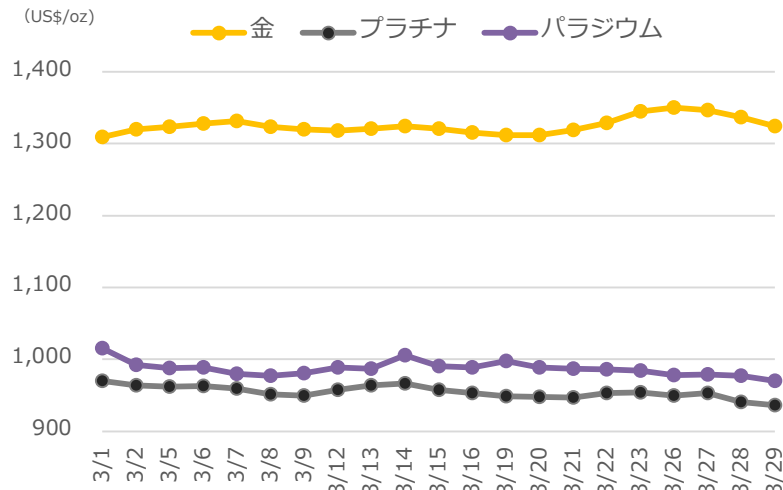
# 金・プラチナ・パラジウム

## 金は米中間貿易摩擦懸念を受け緩やかに上昇、白金族は為替の影響を受け軟調に推移

### ■金

- ① **米中間貿易摩擦懸念から緩やかに上昇後、横ばい推移**：当該期間1,309.5US\$/ozでスタートした金は、1日にトランプ米大統領が鉄鋼・アルミニウムに輸入制限措置発動を表明したことで米中間での貿易摩擦発生懸念が浮上し、安全資産としての需要が高まり、上旬は緩やかに上昇。その後も米国通商政策への不透明感は続いたものの、中旬はドル高地合いが重しとなりほぼ横ばいに推移。
- ② **ドル安基調が好感され上昇するも貿易摩擦懸念緩和を受け下落**：下旬は貿易摩擦懸念の再燃やドル安基調となったことが好感されて上昇傾向を辿り、26日には1,350US\$/ozを超えた。しかし月末には、米中間貿易摩擦の発生回避に向けて同国間で交渉が進んでいるとの報道を受けて同国間の貿易摩擦激化懸念が緩和されたことを受けて、安全資産としての需要が低下し続落。29日1,323.9US\$/ozで越月した。

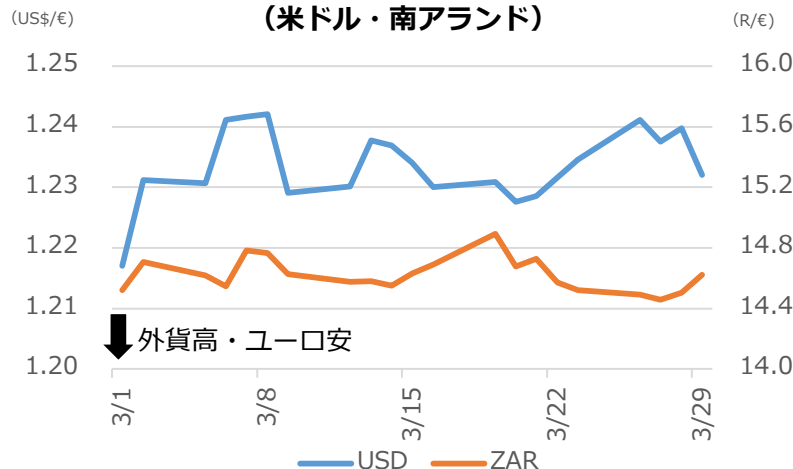
当該期間の値動き



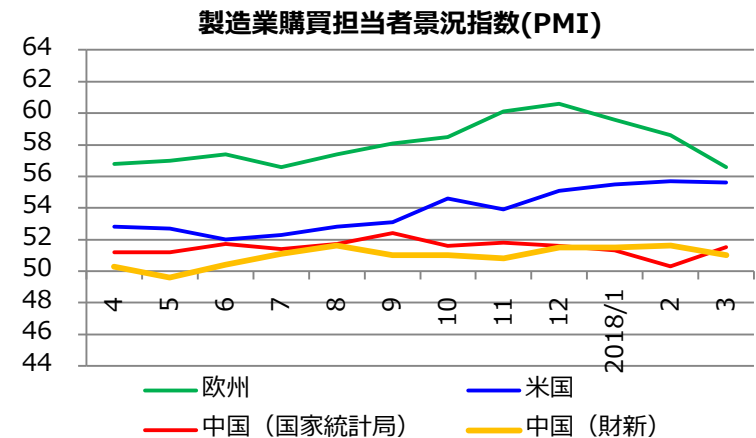
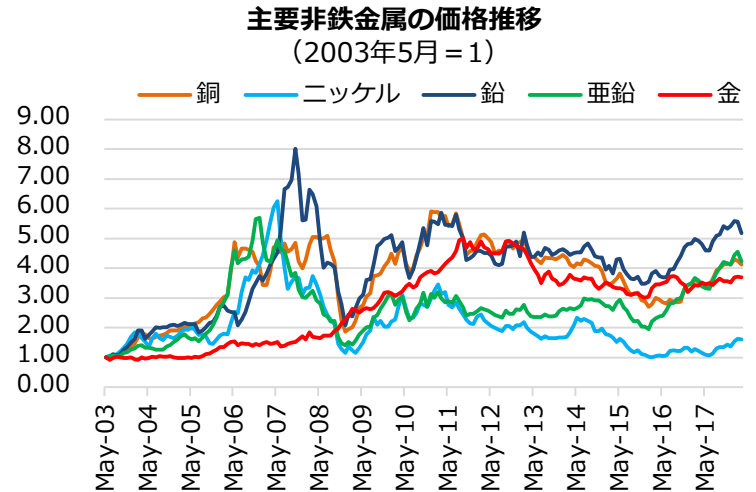
### ■プラチナ・パラジウム

- ① **プラチナ：ドル高を背景に概ね軟調に推移**：プラチナは970.5US\$/ozでスタート。上旬はドル高地合いを背景に軟調に推移していたものの、中旬にはドル高の進行が一服したことが好感されやや値を戻した。その後はほぼ横ばい推移していたが、月末にはドル高に振れたことが嫌気されて下落し、936US\$/ozで越月した。
- ② **パラジウム：為替の動きや中国経済への懸念から軟調に推移**：1,015US\$/ozでスタートしたパラジウムは、ドル高地合いを受けて上旬は軟調に推移。ドル高の進行が一服したことで一時値を戻したものの、月の後半は貿易摩擦懸念の再燃に伴う中国経済への先行き不透明感等が下方圧力となり軟調に推移。月末にドル高に振れたことも圧迫材料となり続落し、970.5US\$/ozで越月した。

ユーロに対する為替の値動き  
(米ドル・南アランド)



		銅	亜鉛	ニッケル	金	プラチナ	パラジウム
		LME現物	LME現物	LME現物	AM・PM平均	AM・PM平均	AM・PM平均
		(US\$/t)	(US\$/t)	(US\$/t)	(US\$/oz)	(US\$/oz)	(US\$/oz)
本報告期	期初	6,852.0	3,405.0	13,510.0	1,309.5	970.5	1,015.5
	期末	6,685.0	3,332.0	13,245.0	1,323.9	936.0	970.5
	最高値	7,015.0	3,405.0	13,925.0	1,350.4	970.5	1,015.5
		3月14日	3月1日	3月14日	3月26日	3月1日	3月1日
	最安値	6,500.0	3,215.0	12,845.0	1,309.5	936.0	970.5
		3月26日	3月23日	3月26日	3月1日	3月29日	3月29日
	平均	6,795.8	3,280.5	13,403.6	1325.1	954.8	987.1
先物 (3月29日)	3か月	6,720.0	3,309.5	13,300.0	-	-	-
	Dec 1	6,870.0	3,158.0	13,585.0	-	-	-
	Dec 2	6,900.0	2,973.0	13,740.0	-	-	-
2018年 (当年)	期初	7,181.0	3,377.0	12,690.0	1,312.4	936.5	1,079.0
	期末	6,685.0	3,332.0	13,245.0	1,323.9	936.0	970.5
	最高値	7,202.5	3,618.0	14,150.0	1,357.6	1,020.0	1,128.5
		1月4日	2月16日	2月15日	1月25日	1月25日	1月15日
	最安値	6,755.0	3,350.5	12,415.0	1,312.4	936.5	969.5
		2月9日	1月3日	1月17日、1月18日	1月2日	1月2日	2月9日
	平均	6,960.5	3,421.0	13,275.8	1,330.0	977.8	1,036.1



米国経済	3月の製造業PMI改定値は55.6（前月確定値：55.7）。4/6労働省発表の3月非農業部門雇用者数は前月比+10.3万人（前月：+32.6万人）と市場予想の18.5万人増を大幅に下回った。失業率は4.1%（前月：4.1%）と低水準を維持した。
中国経済	3月製造業PMIは、国家統計局発表が51.5（前月：50.3）と上昇、財新/Markit発表の速報値は51.0（前月：51.6）と下落。
欧州経済	3月製造業PMIは、確定値56.6（前月確定値：58.6）と下落。